

令和5年度 質問紙調査による結果（猪名川町立中学校）

【調査の主旨】

子どもたちの学力を左右するのは、単に学校の授業だけにとどまらず、学校や家庭での過ごし方など日常生活や自尊感情等が大きく影響すると考えられます。普段の生活を見直し、規律ある生活、また自分をコントロールできる生活ができるようになることをねらいとして、日常生活実態をアンケート調査しています。

■ 日常生活における基本質問の全国比較

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

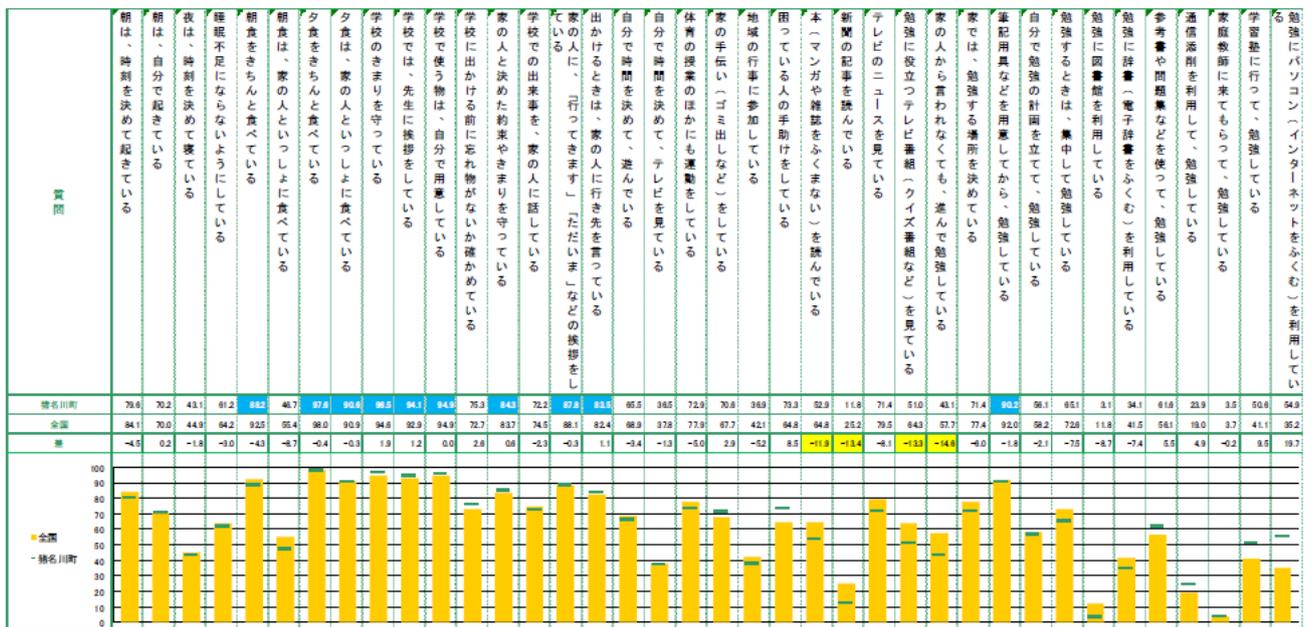
中学校2年

生活行動

学年・基本質問回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

☆町内の中学校2年生の生徒の日常生活は、概ね良好な状況にあります。肯定的な回答は高い水準であり、普段の生活に乱れは見られません。

○80%以上の肯定率で、全国比率から見ても高い肯定率にあるのは下記の項目です。

- ・朝食をきちんと食べている＝88.2%
- ・夕食をきちんと食べている＝97.6%
- ・夕食は、家の人といっしょに食べている＝90.6%
- ・学校のきまりを守っている＝96.5% 全国平均より規範意識が高い。
- ・学校では、先生に挨拶している＝94.1% 全国平均より高く挨拶の習慣は良好。
- ・学校で使う物は、自分で用意している＝94.9%
- ・家の人と決めた約束やきまりを守っている＝84.3%
- ・家の人に、「行ってきます」「ただいま」などの挨拶をしている＝87.8%
- ・出かけるときは、家の人に行き先を言っている＝83.5%

- ・筆記用具などを用意してから、勉強している=90.2%

○肯定率が低く、また全国平均から見て改善すべき項目もあります。

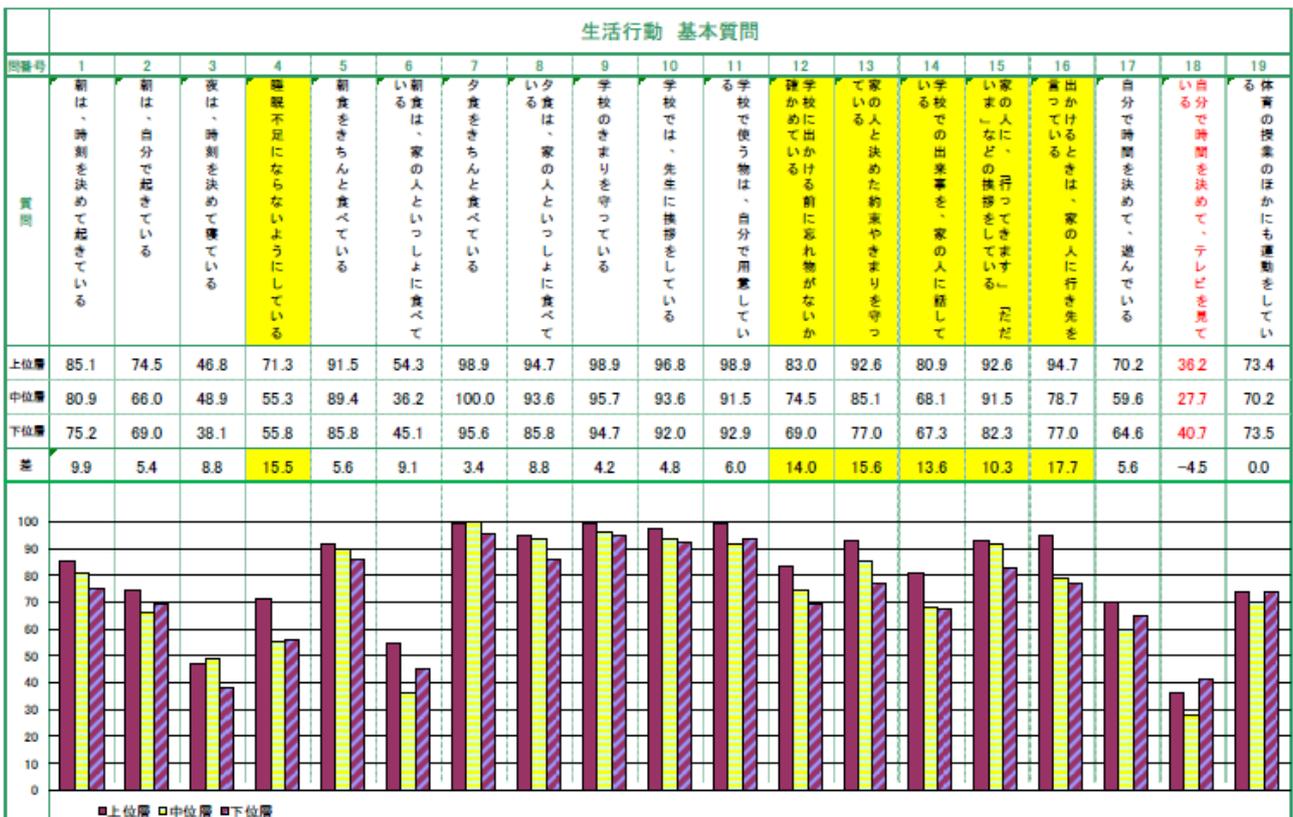
- ・本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる=52.9%（令和4年度 62.1%）
- ・新聞の記事を読んでいる=11.8%（令和4年度 16.0%）
- ・勉強に役立つテレビ番組（クイズ番組など）を見ている=51.0%（令和4年度 54.6%）
- ・家の人から言われなくても、進んで勉強している=43.1%（令和4年度 46.1%）

☆家庭の様子や規範意識が全国平均よりも高く良好です。一方で「新聞の記事を読んでいる」「家の人から言われなくても、進んで勉強している」など、学習活動に関する項目が令和4年度よりも低くなっており、課題が見られます。

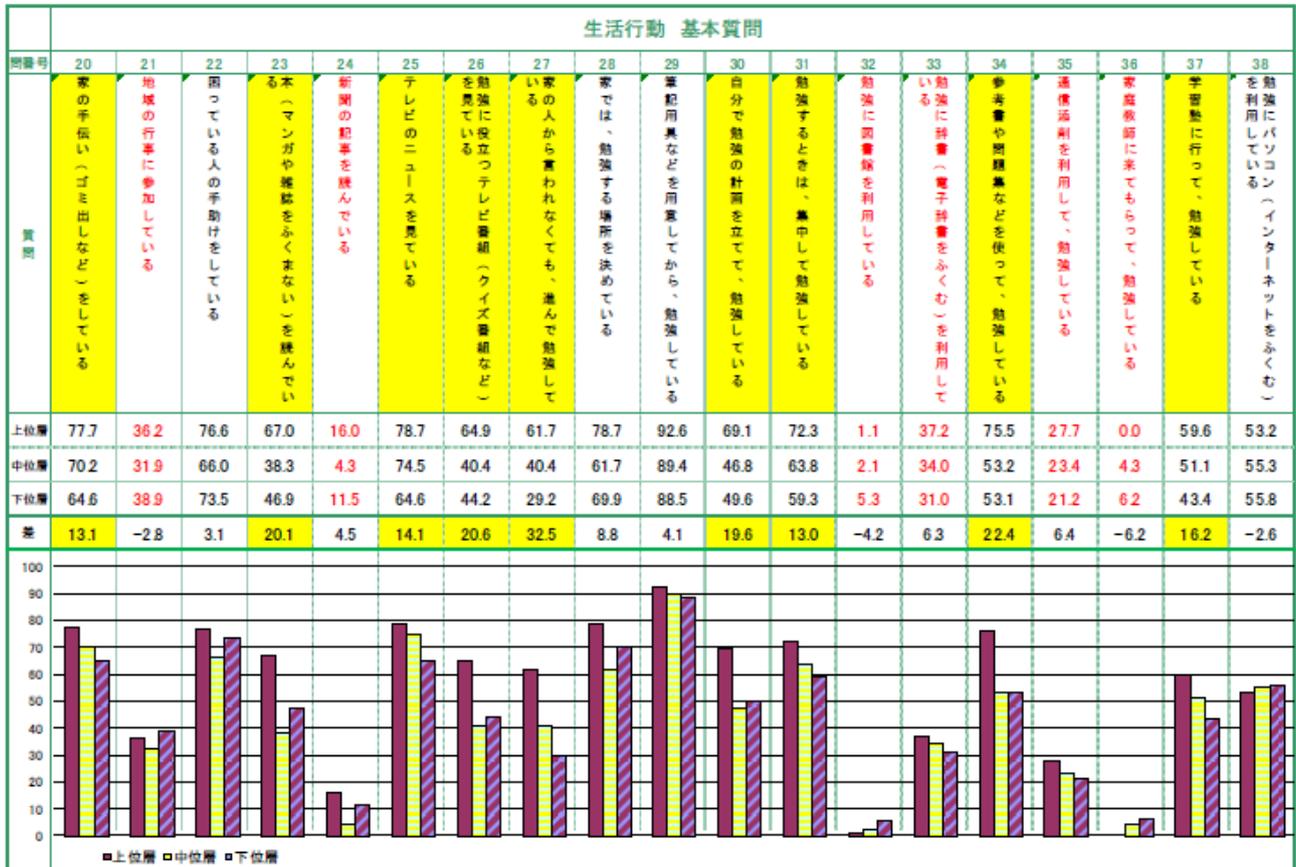
■生活行動と学力調査のクロス分析

☆生活行動に関する質問は「学力調査の結果が良い生徒ほど、自分をコントロールする行動や自分を高めようとする行動に対して肯定的である」との仮説に基づいています。学力の3階層（上位・中位・下位）と肯定率の関連性に注目して、調査結果を見てください。

【標準学力調査対応】 中学校2年 生活行動 学年・基本質問3階層回答傾向 猪名川町教育委員会 第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の研究に基づきます。 ※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

○質問項目で学力調査での上位層と下位層に 10 ポイント以上の大きな差が出たものを列挙しました。

- ・睡眠不足にならないようにしている＝学力上位層 71.3%は下位層より 15.5 ポイント高い。
- ・学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている＝学力上位層 83.0%は下位層より 14.0 ポイント高い。
- ・家の人と決めた約束やきまりを守っている＝学力上位層 92.6%は下位層より 15.6 ポイント高い
- ・学校での出来事を、家の人に話している＝学力上位層 80.9%は下位層より 13.6 ポイント高い
- ・家の人に、「行ってきます」「ただいま」などの挨拶をしている
＝学力上位層 92.6%は下位層より 10.3 ポイント高い
- ・出かけるときは、家の人に行き先を言っている＝学力上位層 94.7%は下位層より 17.7 ポイント高い。

○質問項目で全ての層で 50%以下の肯定率が出たものを列挙しました。

- ・自分で時間を決めて、テレビを見ている
- ・地域の行事に参加している
- ・新聞の記事を読んでいる
- ・勉強に図書館を利用している
- ・勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している
- ・通信添削を利用して、勉強している
- ・家庭教師に来てもらって、勉強している

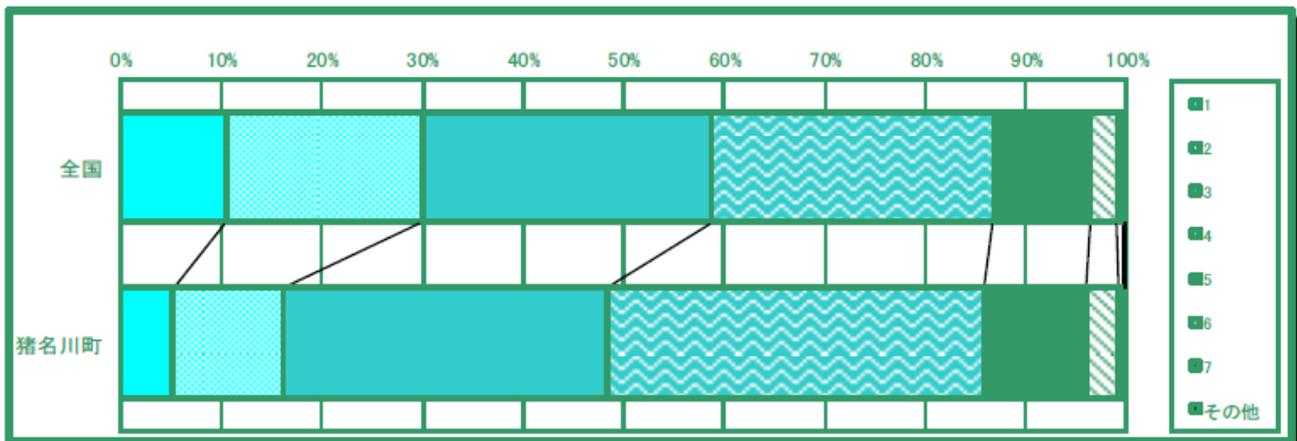
☆基本的な生活行動や学習状況と学力調査の結果層別データをクロスして、肯定率を比較した資料です。
 グラフから明らかなように、大きなばらつきは見えないものの、概して上位層は生活状況や学習態度で規律ある生活を送っているのが分かります。

■発展質問回答状況

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

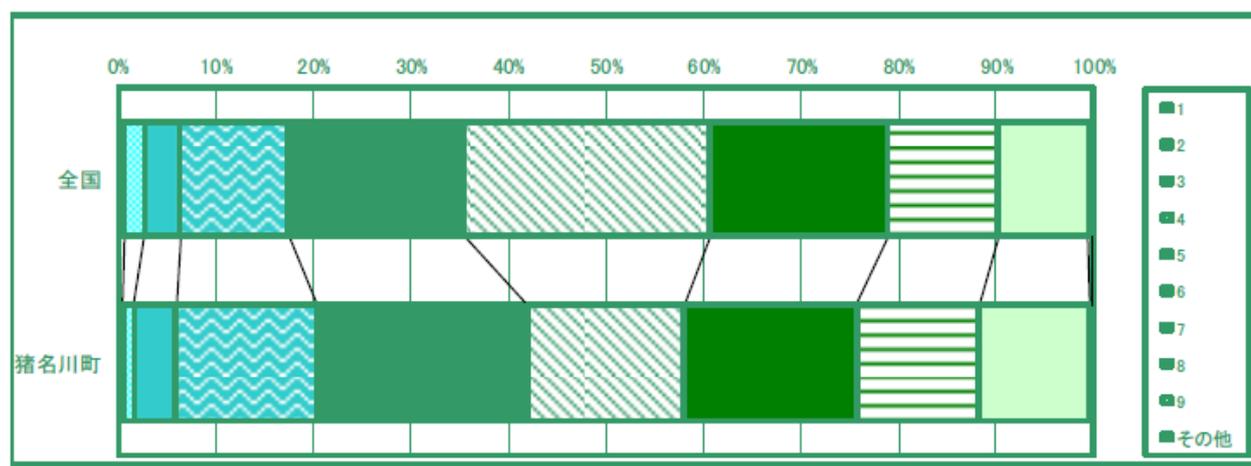
	1 午前6時より前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より後	その他
全国	10.4	19.4	28.9	28.0	9.5	2.7	0.6	0.3
猪名川町	5.1	11.0	32.2	37.6	10.2	3.1	0.4	0.4



○85.9%（令和4年度 88.1%）が7時までに起床しています。令和4年度は、6時ごろまでに起きる生徒が23.5%で、今年度は16.1%と起床時間が遅くなっている傾向にあります。

学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

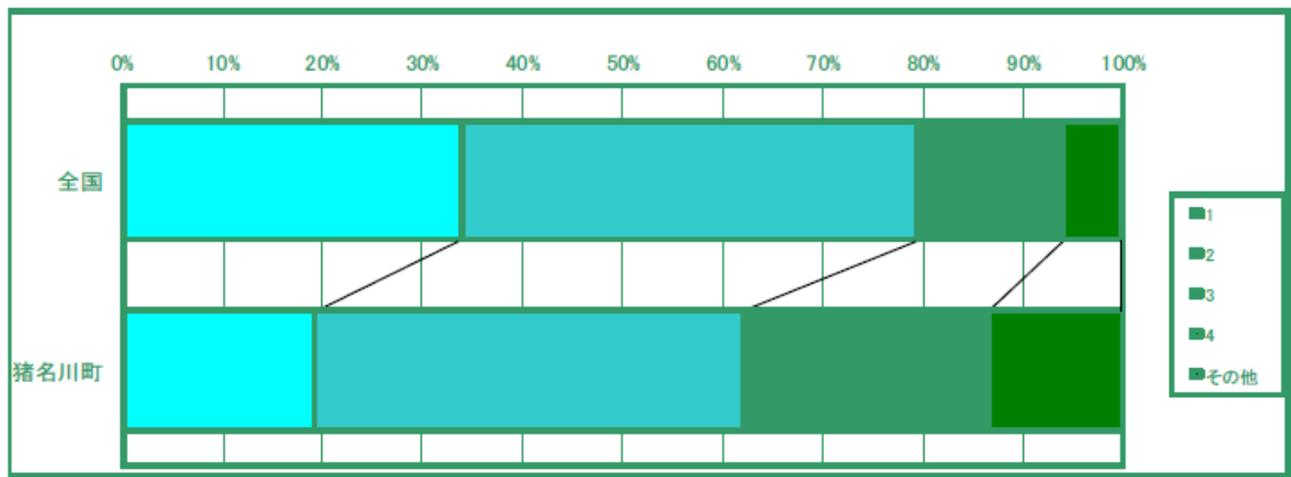
	1 午後9時より前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より後	その他
全国	0.6	2.1	3.7	11.1	18.0	25.2	18.2	11.4	9.3	0.4
猪名川町	0.4	1.2	4.3	14.5	21.6	16.1	17.6	12.5	11.4	0.4



○10時半～11時ごろに就寝する生徒が37.6%（令和4年度37.9%）と一番多いです。11時半ごろまでには、ほとんどの生徒が就寝する習慣になっています。

学校が好きである

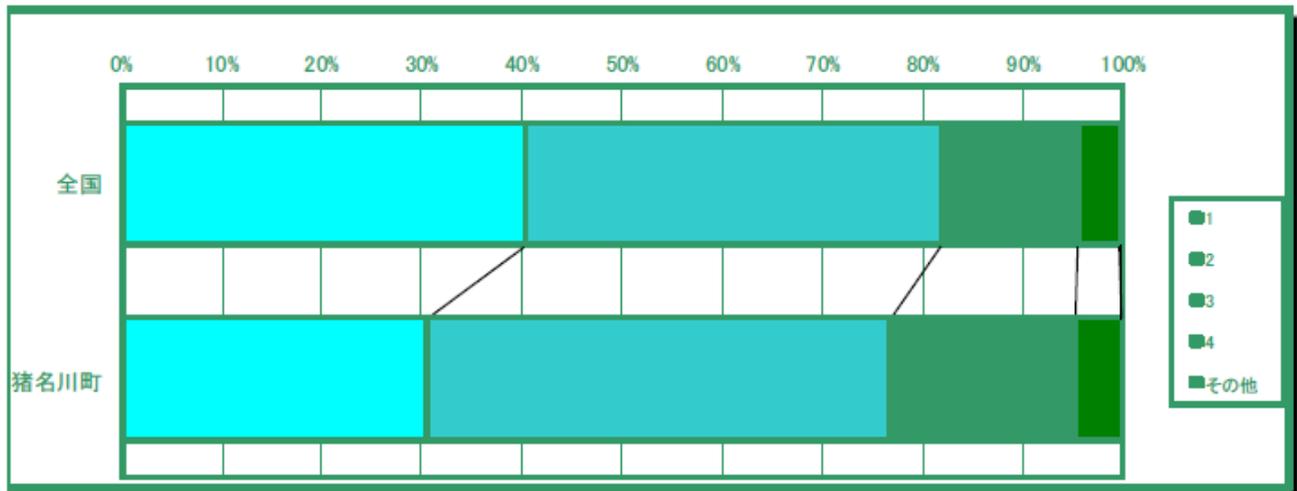
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	33.9	45.7	14.6	5.7	0.2
猪名川町	19.2	42.7	24.7	13.3	0.0



○「学校が好き」と答えている生徒は62.0%と令和4年度（64.5%）より減少しています。また、「まったくあてはまらない」と答えている生徒が13.3%と令和4年度（11.6%）より増加しています。

自分が住んでいる地域が好きである

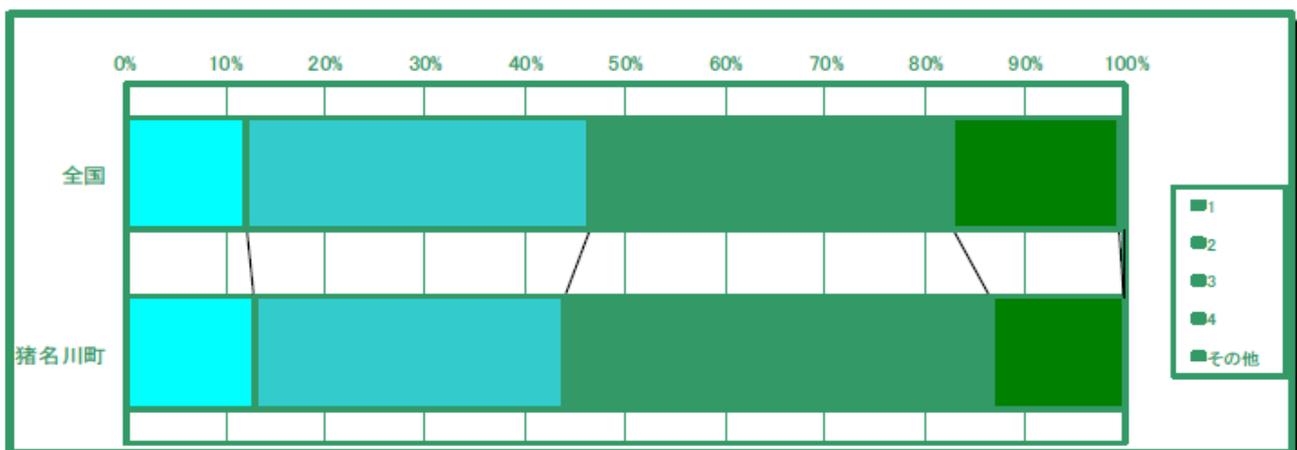
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	40.5	41.6	13.6	4.1	0.3
猪名川町	30.6	46.3	18.4	4.7	0.0



○「猪名川町が好き」と答えている生徒は 76.9%と令和4年度（83.3%）より減少している。地域全体で子どもたちを育てている環境となっており非常に喜ばしい状況です。

自分のことが好きである

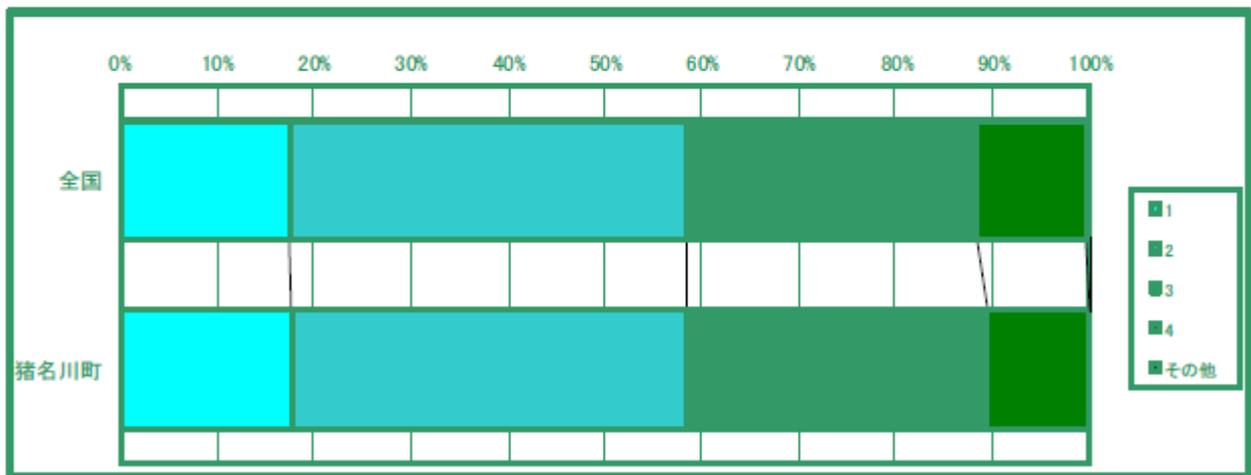
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	12.1	34.3	36.4	16.7	0.4
猪名川町	12.9	31.0	42.7	13.3	0.0



○「自分のことが好き」と答えている生徒は 43.9%と令和4年度（52.2%）より減少し、全国平均 46.4%よりも下回っています。

自分には、良いところがあると思う

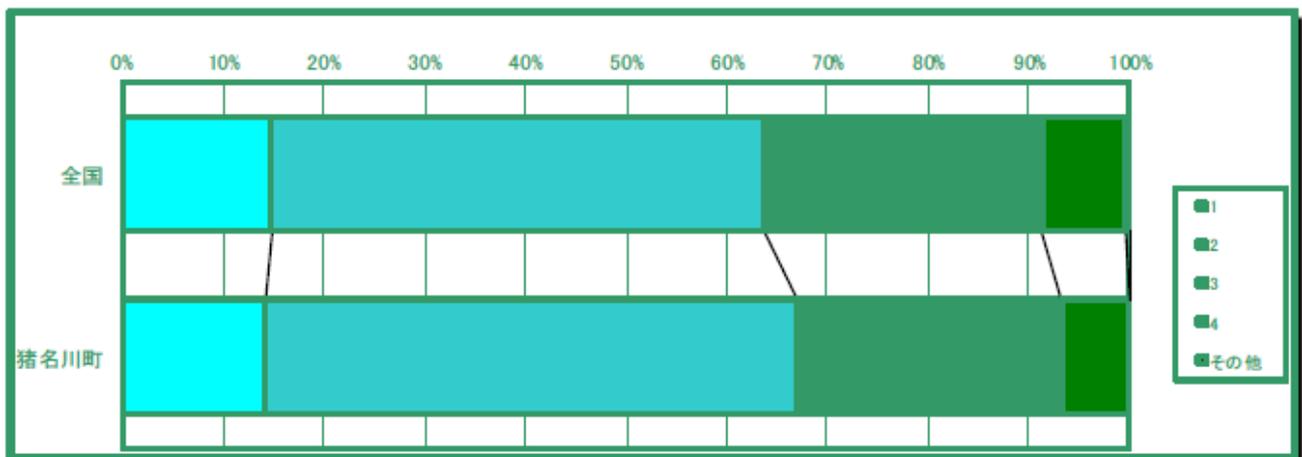
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	17.5	41.0	29.8	11.4	0.4
猪名川町	17.6	40.8	31.0	10.6	0.0



○「自分には良いところがある」と答えている生徒は 58.4%と令和4年度（63.5%）より減少しています。

自分は、友だちから認められていると思う

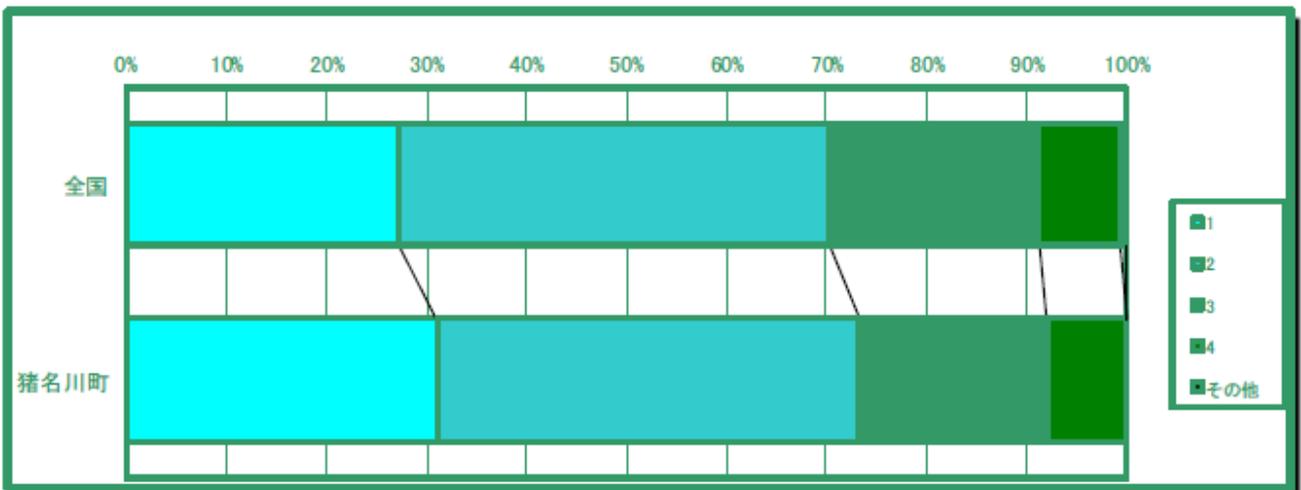
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	14.8	48.9	27.6	8.3	0.4
猪名川町	14.1	52.9	26.3	6.7	0.0



○友だちから認められている自己認識は 67.1%（令和4年度 67.9%）と全国平均 63.7%と比較して高い傾向にあります。学級経営上も「他者を認め」「他者に認められる」関係は大切です。

自分は、家の人から認められていると思う

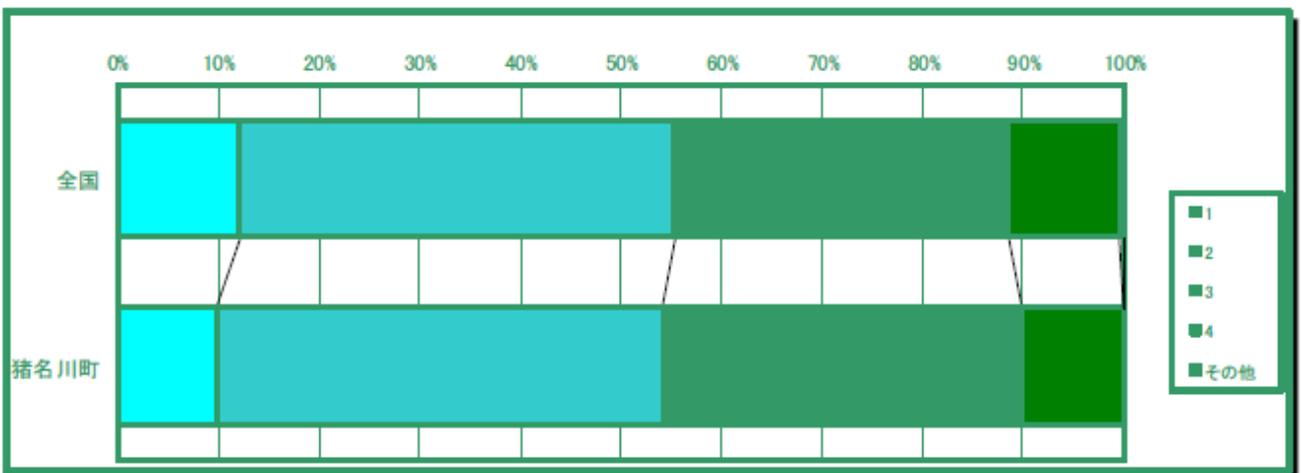
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	27.3	43.1	21.0	8.1	0.5
猪名川町	31.0	42.4	18.8	7.8	0.0



○家の人から認められている自己認識は73.4%（令和4年度75.1%）と全国平均70.3%よりも上回っています。多くの生徒は、家庭での存在を大きく感じており良好な状況にあります。

自分は、先生から認められていると思う

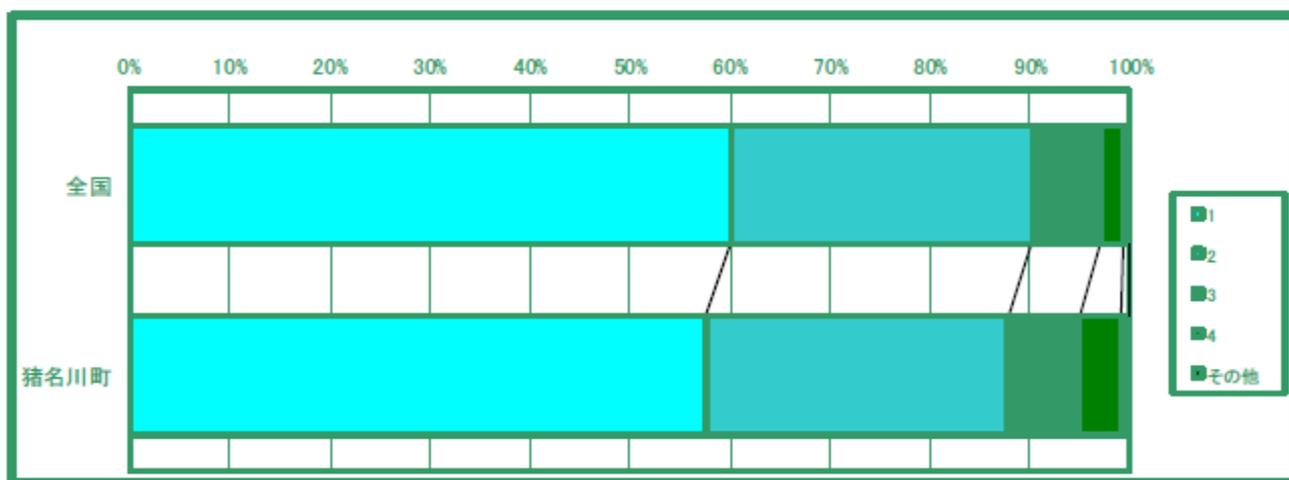
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	12.0	43.3	33.2	11.1	0.4
猪名川町	9.8	44.3	35.7	10.2	0.0



○先生から認められている自己認識は54.1%（令和4年度54.3%）と、全国平均55.3%とほぼ同等です。

自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う

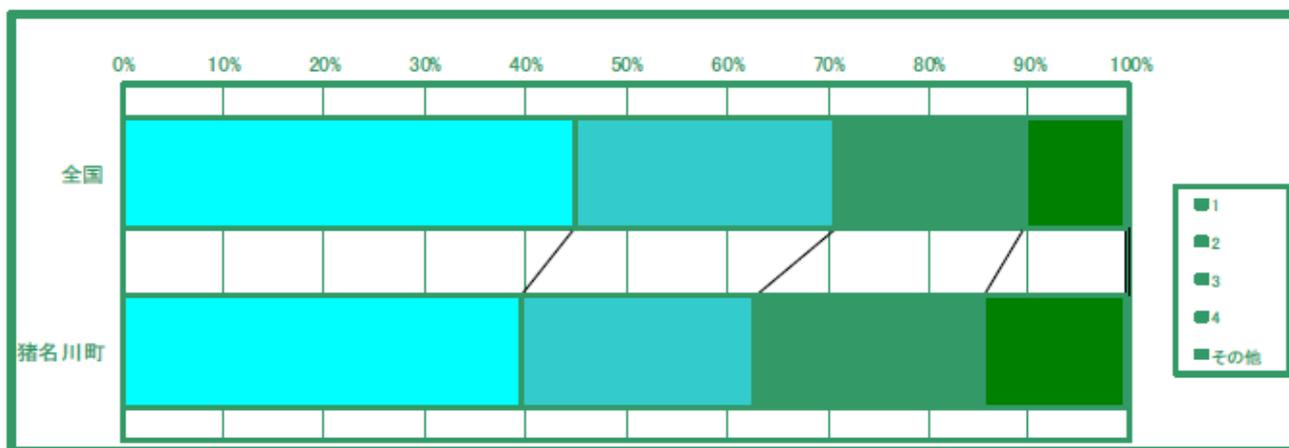
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	60.1	30.2	6.8	2.4	0.5
猪名川町	57.6	30.2	7.1	4.3	0.8



○「自分の力をできる限り伸ばしたい」と答えている生徒は 87.8%(令和4年度 87.7%)と、全国平均 90.3%よりも下回っています。

将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	44.8	25.9	18.8	10.1	0.4
猪名川町	39.6	23.1	22.7	14.1	0.4



○「将来の夢や目標をもっている」生徒は 62.7%と令和4年度 (64.8%) より減少しており、全国平均 70.7%よりも低いです。進路を考える中学生の段階のため、「将来の夢や目標を持っていない」36.8% (令和4年度 34.5%) の生徒に向けたサポートを考える必要があります。

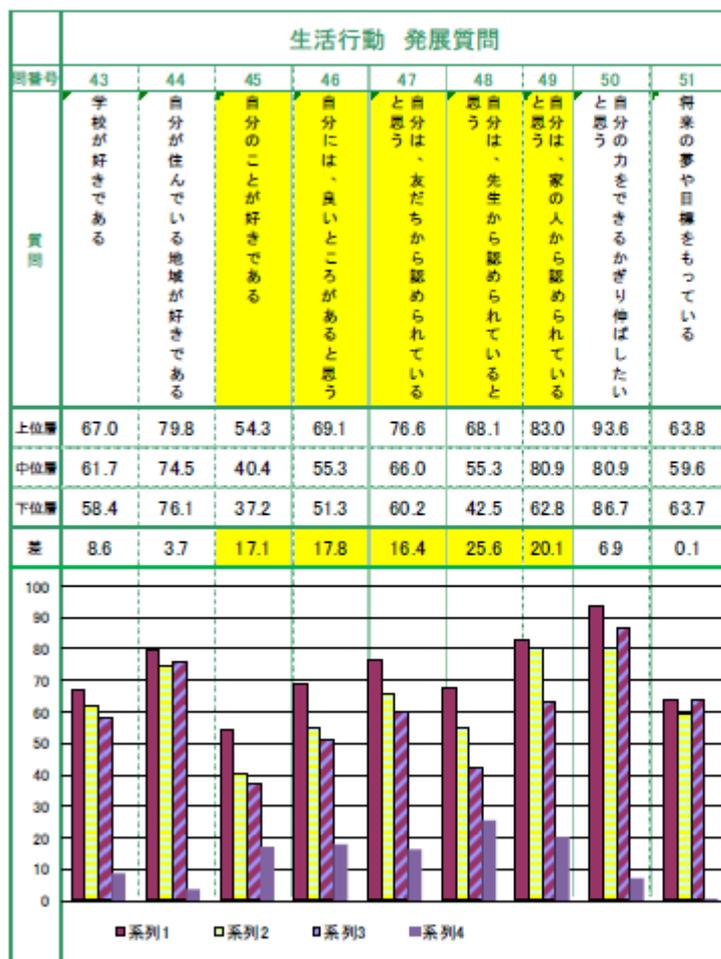
■発展質問回答状況とクロス集計

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年
生活行動

学年・発展質問3階層回答傾向



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。肯定・否定に区分できない質問については、表示しておりません。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

※上記の表は自己肯定感や郷土愛などの質問と学力との相関クロス集計です。

◎上位層の生徒が肯定的に回答しており、概ね下位層の生徒と比べて肯定率が高いことがわかります。

▼上位層と下位層間で「友だち」「先生」「家の人」から認められていると感じる差が16～25ポイント前後となっていることから、自己肯定感を育み、明るく希望に満ちた学校生活を送っている生徒ほど、正答率が高い傾向にあることがわかります。「他者を認め」「他者から認められる」関係が実感できる学級環境を作っていく必要があります。

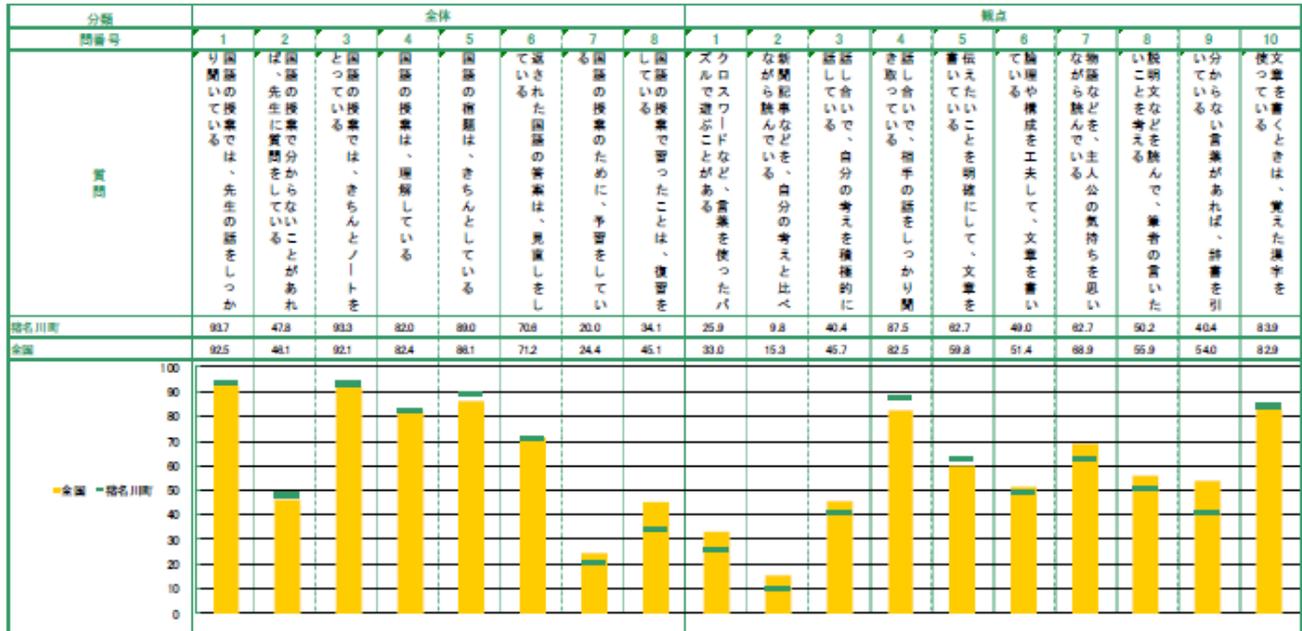
■学習活動調査（国語・数学・英語）

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査

中学校2年
学習活動(国語)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年



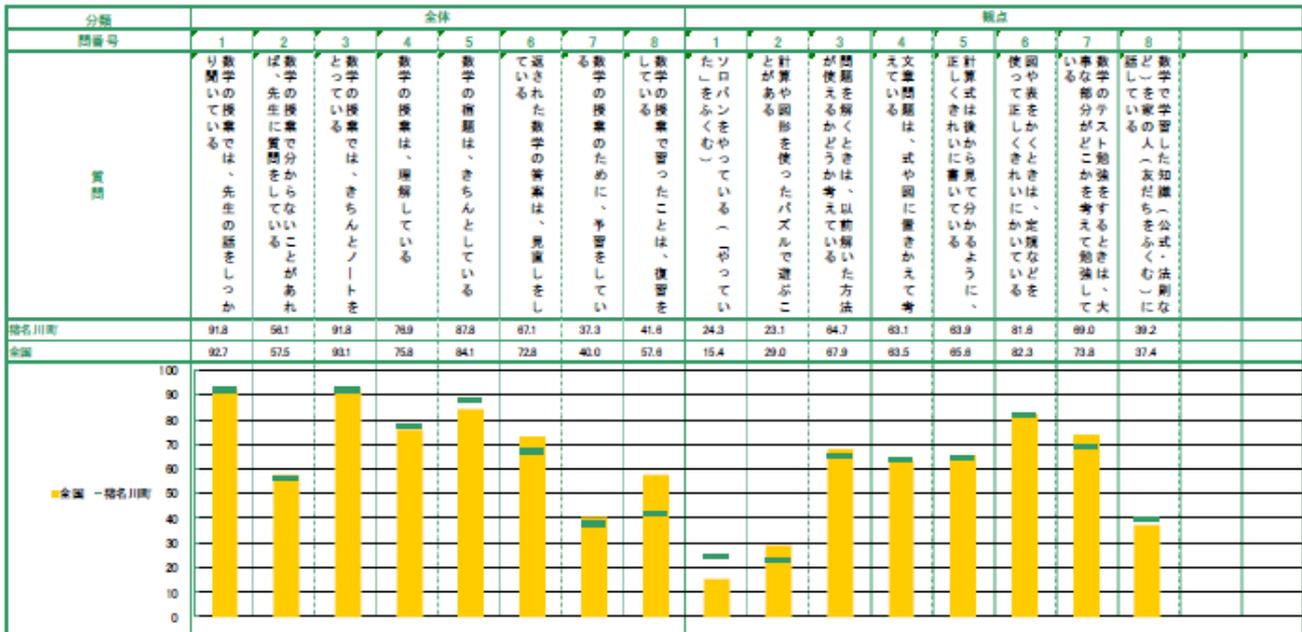
※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。
 ※「学習活動」の「学年・回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の質問に網をかきました。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上卓越した質問を太線で囲みました。
 ※網のかかれた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「教科指導」の参考にして下さい。

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査

中学校2年
学習活動(数学)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。
 ※「学習活動」の「学年・回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の質問に網をかきました。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上卓越した質問を太線で囲みました。
 ※網のかかれた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「教科指導」の参考にして下さい。

分類 問番号	全体								観点							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
質問	1 英語の授業では、先生の話をしっかり聞いている	2 英語の授業では、先生に質問をしながら聞いている	3 英語の授業では、きちんとノートをとっている	4 英語の授業は、理解している	5 英語の宿題は、きちんとしている	6 出された英語の宿題は、見直しをしている	7 英語の授業のために、予習をしている	8 英語の授業で習ったことは、復習をしている	1 英語の授業で習ったことは、復習をしている	2 英語の勉強のために、予習をしている	3 新しい単語が出てきたら、発音やつづりを覚えるための練習をしている	4 A・L・Tと積極的に英語で話している	5 英文を聞き取るために、自分なりの工夫をしている	6 英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている	7 英語のテスト勉強をするときは、大事な部分だけを考えて勉強している	8 英語で学習した知識(単語など)を自分の人(友達らを含め)に話している
徳島川町	91.4	54.5	89.0	74.5	87.5	69.4	41.8	48.7	29.0	18.0	52.2	24.3	57.3	70.2	72.5	40.8
全国	91.8	55.3	88.9	70.8	83.2	71.4	42.9	50.1	23.4	18.2	57.8	27.8	54.4	62.3	71.9	41.3

※数値は肯定的に答えた生徒の割合を示しています。
 ※「学習活動」の「学年・回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の質問に網をかけた。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上卓越した質問を太線で囲みました。
 ※網のかけられた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

◎国語・数学・英語ともに学習活動状況は、全国平均から見ても良好です。「国語・数学・英語の授業で先生の話をしっかり聞いている」生徒は、3教科とも肯定率90%を超えて授業態度がしっかりとしていることがうかがえます。「授業ではきちんとノートをとっている」生徒も、3教科とも80%以上となっており学習意欲が高い傾向にあります。

◎「宿題はきちんとしている」生徒は、3教科とも80%以上で、全国平均より高い傾向にあります。

▼3教科とも「授業のために、予習している」生徒(国語=20.0% 数学=37.3% 英語=41.6%)は全国平均(国語=24.4% 数学=40.0% 英語=48.9%)をやや下回っています。また、「授業で習ったことは復習をしている」生徒(国語=34.1% 数学=41.6% 英語=46.7%)は、令和3年度から引き続き全国平均(国語=44.9% 数学=57.2% 英語=60.1%)を下回っています。「学校から与えられる宿題」をきちんと行うことは定着していますが、「自分にとってどのような学習が必要か考え、予習復習に取り組む」習慣を付けることが必要です。

■学習活動調査クロス集計（国語・数学・英語）

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年

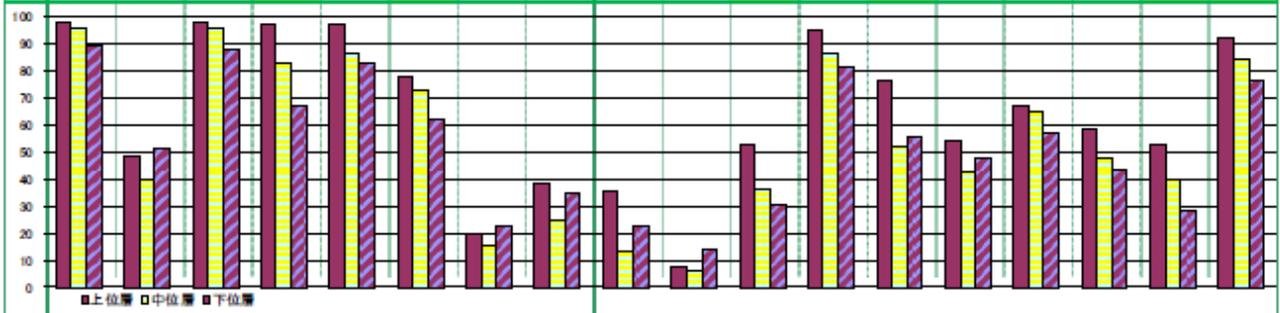
学習活動(国語)

学年・学習3階層回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年

分類	全体								観点									
	学校				家庭				主体的態度		思考力(読-聞)		思考力(書)		思考力(語)		知技	
階層	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
質問	国語の授業では、先生の話をしっかりと聞いています。	国語の授業では、先生の話をしっかりと聞いています。	国語の授業では、先生の話をしっかりと聞いています。	国語の授業では、理解している。	国語の授業では、理解している。	国語の授業では、理解している。	国語の授業では、理解している。	国語の授業では、理解している。	クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある。	新報記事などを、自分の考えと比べながら読んでいます。	読んでいるので、自分の考えを積極的に述べています。	読んでいるので、相手の話をしっかりと聞き取っています。	読んでいるので、内容を明確にして、文章を書いています。	読んでいるので、内容を明確にして、文章を書いています。	読んでいるので、内容を明確にして、文章を書いています。	読んでいるので、内容を明確にして、文章を書いています。	読んでいるので、内容を明確にして、文章を書いています。	読んでいるので、内容を明確にして、文章を書いています。
上位層	98.0	48.5	98.0	97.0	97.0	78.2	19.8	38.6	35.6	7.9	52.5	95.0	76.2	54.5	67.3	58.4	52.5	92.1
中位層	96.2	40.4	96.2	82.7	86.5	73.1	15.4	25.0	13.5	5.8	36.5	86.5	51.9	42.3	65.4	48.1	40.4	84.6
下位層	89.1	51.5	88.1	67.3	83.2	62.4	22.8	34.7	22.8	13.9	30.7	81.2	55.4	47.5	57.4	43.6	28.7	76.2
差	8.9	-3.0	9.9	29.7	13.9	15.8	-3.0	4.0	12.9	-5.9	21.8	13.9	20.8	6.9	9.9	14.9	23.8	15.8



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年

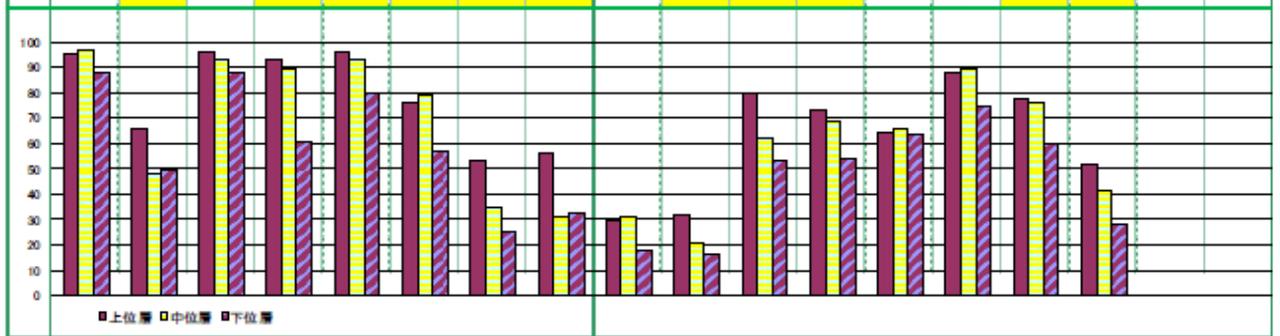
学習活動(数学)

学年・学習3階層回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年

分類	全体								観点							
	学校				家庭				主体的態度		思考力		知技(技能)		知技(理解)	
階層	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
質問	数学の授業では、先生の話をしっかりと聞いています。	数学の授業では、先生の話をしっかりと聞いています。	数学の授業では、先生の話をしっかりと聞いています。	数学の授業では、理解している。	数学の授業では、理解している。	数学の授業では、理解している。	数学の授業では、理解している。	数学の授業では、理解している。	ソロバンを使っている(やっていた)。	計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある。	問題を解くときは、以前解いた方法が使えるかどうか考えている。	文章問題は、式や図に書きかえて考えている。	計算式は後から見て分かるように、正しくきれいに書いています。	調って正しくきれいに、定規などを使って正しくきれいに書いています。	数学のテスト勉強をするときは、大事な部分だけどこかを覚えて勉強しています。	数学で得意した問題(公式・法則・公式)を覚えている(友達に教える)。
上位層	95.0	66.0	96.0	93.0	96.0	76.0	53.0	56.0	30.0	32.0	80.0	73.0	64.0	88.0	78.0	52.0
中位層	96.6	48.3	93.1	89.7	93.1	79.3	34.5	31.0	31.0	20.7	62.1	69.0	65.5	89.7	75.9	41.4
下位層	88.1	50.0	88.1	61.1	80.2	57.1	25.4	32.5	18.3	16.7	53.2	54.0	63.5	74.6	60.3	28.6
差	6.9	16.0	7.9	31.9	15.8	18.9	27.6	23.5	11.7	15.3	26.8	19.0	0.5	13.4	17.7	23.4



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

分類	全体								観点							
	学校				家庭				主体的態度				思考表		知技	
問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
質問	英語の授業では、先生の話をしっかりと聞いている	英語の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	英語の授業では、きちんとノートをとっている	英語の授業は、理解している	英語の宿題は、きちんとしている	返された英語の答えは、見直しをしている	英語の授業のために、予習をしている	英語の授業で習ったことは、復習をしている	英語の授業で習ったことは、復習をしている	英語の勉強をしている						
上位層	96.5	58.8	95.3	95.3	97.6	82.4	55.3	58.8	50.6	24.7	68.2	24.7	70.6	81.2	82.4	51.8
中位層	95.2	56.5	96.8	74.2	95.2	74.2	40.3	40.3	29.0	17.7	56.5	27.4	54.8	80.6	74.2	43.5
下位層	86.0	50.5	80.4	58.9	75.7	57.0	31.8	41.1	12.1	13.1	37.4	22.4	48.6	56.1	64.5	30.8
差	10.5	8.4	14.9	36.4	21.9	25.3	23.5	17.7	38.4	11.6	30.9	2.3	22.0	25.1	17.9	20.9

※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

○「国語」の学習活動で15ポイント以上の差があった観点項目

- ・学校＝国語の授業は、理解している
- ・家庭＝返された国語の答えは、見直しをしている
- ・思考・判断・表現（話すこと・聞くこと）＝話し合いで、自分の考えを積極的に話している
- ・思考・判断・表現（書くこと）＝伝えたいことを明確にして、文章を書いている
- ・知識・技能＝分からない言葉があれば、辞書を引いている
文章を書くときは、覚えた漢字を使っている

○「数学」の学習活動で15ポイント以上の差があった観点項目

- ・学校＝数学の授業で分からないことがあれば、先生に質問している
数学の授業は、理解している
- ・家庭＝数学の宿題は、きちんとしている
返された数学の答えは、見直しをしている
数学の授業のために、予習している
数学の授業で習ったことは、復習をしている
- ・主体的態度＝計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある
- ・思考・判断・表現＝問題を解くときは、以前解いた方法が使えるかどうか考えている
文章問題は、式や図に置きかえて考えている

- ・知識・技能（理解）＝数学のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している
数学で学習した知識（公式・法則など）を家の人（友だちをふくむ）に話している

○「英語」の学習活動で15ポイント以上の差があった観点項目

- ・学校＝英語の授業は、理解している
- ・家庭＝英語の宿題は、きちんとしている
返された英語の答えは、見直しをしている
英語の授業のために、予習している
英語の授業で習ったことは、復習をしている
- ・主体的態度＝「英語検定」の勉強をしている
新しい単語が出てきたら、発音やつづりを覚えるための練習をしている
- ・思考・判断・表現＝英文を聞き取るために、自分なりの工夫をしている
英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている
- ・知識・技能＝英語のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している
英語で学習した知識（単語など）を家の人（友だちをふくむ）に話している

◎上位層・下位層とも3教科で、「先生の話をしっかり聞いている」「きちんとノートをとっている」は肯定率が高く、全体的にしっかりと授業態度や学習意欲の高さがうかがえます。数学・英語において「授業は理解している」生徒の上位層と下位層との差（数学＝31.9ポイント英語＝36.4ポイント）に大きな開きが見られるが、令和4年度より改善が見られます。（令和4年度 数学＝44.8ポイント 英語＝44.4ポイント）。このことから、授業態度や学習意欲が、授業の理解に結び付いている生徒が増加したことが考えられます。

▼英語において「返された答えは、見直しをしている」生徒の上位層と下位層との差が、25.3ポイントの差となっている。また、数学と英語において「授業のために、予習している」生徒の上位層と下位層との差（数学＝27.6ポイント 英語＝23.5ポイント）が令和4年度より広がっています（令和4年度 数学＝12.1ポイント 英語＝5.2ポイント）。このことから、下位層向けの学習習慣、学習方法について工夫する必要があります。

▼「数学の授業で分からないことがあれば、先生に質問している」生徒の上位層と下位層との差が16.0ポイントであることから、分からないことをそのままにしないよう生徒に声をかけるなど、学習をサポートする必要があります。